

## 肝炎対策の推進に係る連携協定に関する取組について

令和 3 年 3 月 10 日

健康福祉局薬務課

### 1 連携協定について

#### (1) 趣旨

肝がんの主な原因は B 型・C 型肝炎ウイルスだが、早期発見・早期治療により肝がんの発症を抑えることが可能である。

本県は、全国と比べて肝がん死亡率の高い県であるが、積極的に肝炎対策を行い、肝がん死亡率は低下している。

そこで、肝炎対策をさらに推進するため、研究機関であり肝炎治療の中心的役割を担う広島大学と、肝炎撲滅に向けた貢献活動に尽力する製薬企業であるアッヴィ合同会社との三者で、肝炎対策に係る相互協力を目的とした連携協定を締結し、県民の健康寿命の延伸を目指す。

#### (2) 協力内容

ア 肝疾患の啓発に関すること

例：肝炎ウイルス検査の受検の啓発、受診・受療の啓発等

イ ひろしま肝疾患コーディネーターに関すること

例：研修会の開催等

ウ 肝炎ウイルス陽性者のフォローアップに関すること

例：肝炎ウイルス陽性者を専門医に繋げる取組の強化等

エ その他県民の健康増進に関すること

#### (3) 協定締結日

令和元年 7 月 18 日（木）



### 2 連携協定に基づくこれまでの取組

#### (1) ウイルス性肝炎排除に向けた取組

ア 取組の趣旨

現在、日本の肝炎ウイルス検査受検率は 6 割を超え<sup>1)</sup>、さらに陽性率は HBV0.6%、HCV0.3%<sup>2)</sup>と低くなった。そこで、肝炎ウイルスの撲滅にむけて、県内全域に同じ取組を行うだけでなく、地域の特性に合わせた肝炎対策を行うことの重要性が増していると考え、この取組を行うこととした。

この取組は、協力を得られた県内 3 地区程度において、肝炎ウイルス感染状況を血清疫学的に

#### 出典

1) 令和元年 12 月 13 日 第 24 回肝炎対策推進協議会 資料 3

(ウイルス肝炎に関する疫学 広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学 田中純子)

2) 肝炎総合対策の推進 各自治体における肝炎ウイルス検査の実績（平成 29 年度健康増進事業）

把握し、課題を検討し効果的な対策を提言することを目的とする。

## イ 調査方法

- 対象者の抽出（住民基本台帳から層化無作為抽出〔性別年齢階級別〕）
- 対象者へ案内送付
- 肝炎ウイルス検査、講演会の実施（血液検査、腹部エコー検査を無料で実施）
- 検査結果の通知・保健指導
- 評価

## ウ 令和2年度の実績

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため30分単位での予約制とし、動線管理や消毒・換気の徹底を行い、次の日程で調査を行った。

日程	地区	受検者数
令和2年7月15, 16, 22, 30, 31日 令和2年8月4, 5日	安芸太田町	606人
令和2年10月10, 11日	呉市	584人
令和2年10月18, 25日	尾道市	459人

受検者にはフィブロスキャン検査結果（図1）等をその場で渡した。また、陽性者には、陽性通知やフォローアップシステムの登録に関する案内（図2）、登録用書類一式等を後日郵送した。

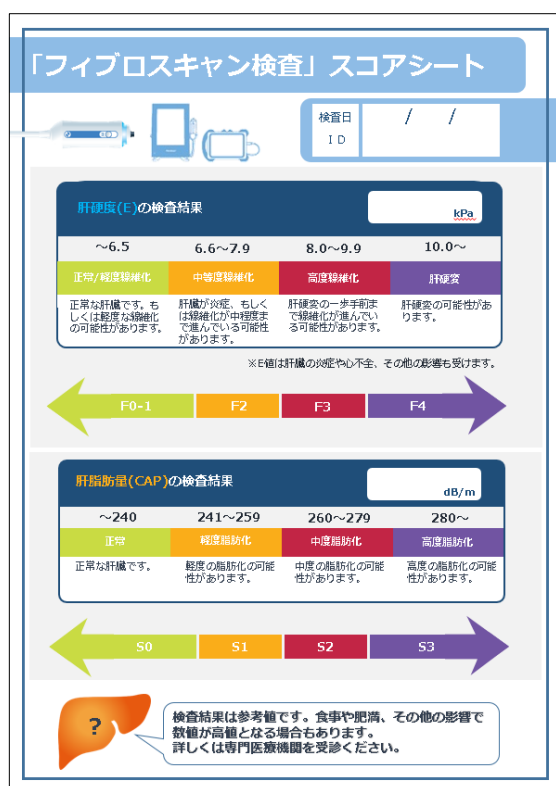


図1 フィブロスキャン検査結果

図2 フォローアップシステムの登録案内（陽性者向け）

## エ 今後の予定等

この取組は、肝炎ウイルス感染状況を把握し、その状況に応じた課題を検討し効果的な対策を提言することを目的としている。

肝炎ウイルス感染状況を把握するための肝炎ウイルス検査は実施したため、今後はその結果を分析し、課題や対策等について広島大学等と検討を行う。

## (2) 肝炎ウイルスキャリアを専門医に繋げるための取組

### ア 取組の趣旨

医療機関では、行政と比べて6倍以上の件数の肝炎ウイルス検査が行われており、これらの検査結果が適切に受検者に伝えられることは適切な受療の促進に効果的であると考えられる。

医療機関	426,270 件 (HBs 抗原検査 181,469 件, HCV 抗体定性・定量検査 244,801 件) <sup>3)</sup>
行政	65,257 件 (HBs 抗原検査 32,306 件, HCV 抗体検査 32,951 件) <sup>4)</sup>

一方で、肝疾患 Co に行ったアンケート調査で、医療機関内で行った検査結果を十分に説明されていない可能性が示唆された。

そこで、医療機関で手術前等実施される肝炎ウイルス検査の結果を患者に伝え、必要に応じて専門医に紹介する体制の構築を促進し、陽性者を適切な治療に繋げ、陰性者には陰性であることの自覚を促すことを目的としてこの取組を行うこととした(図3)。

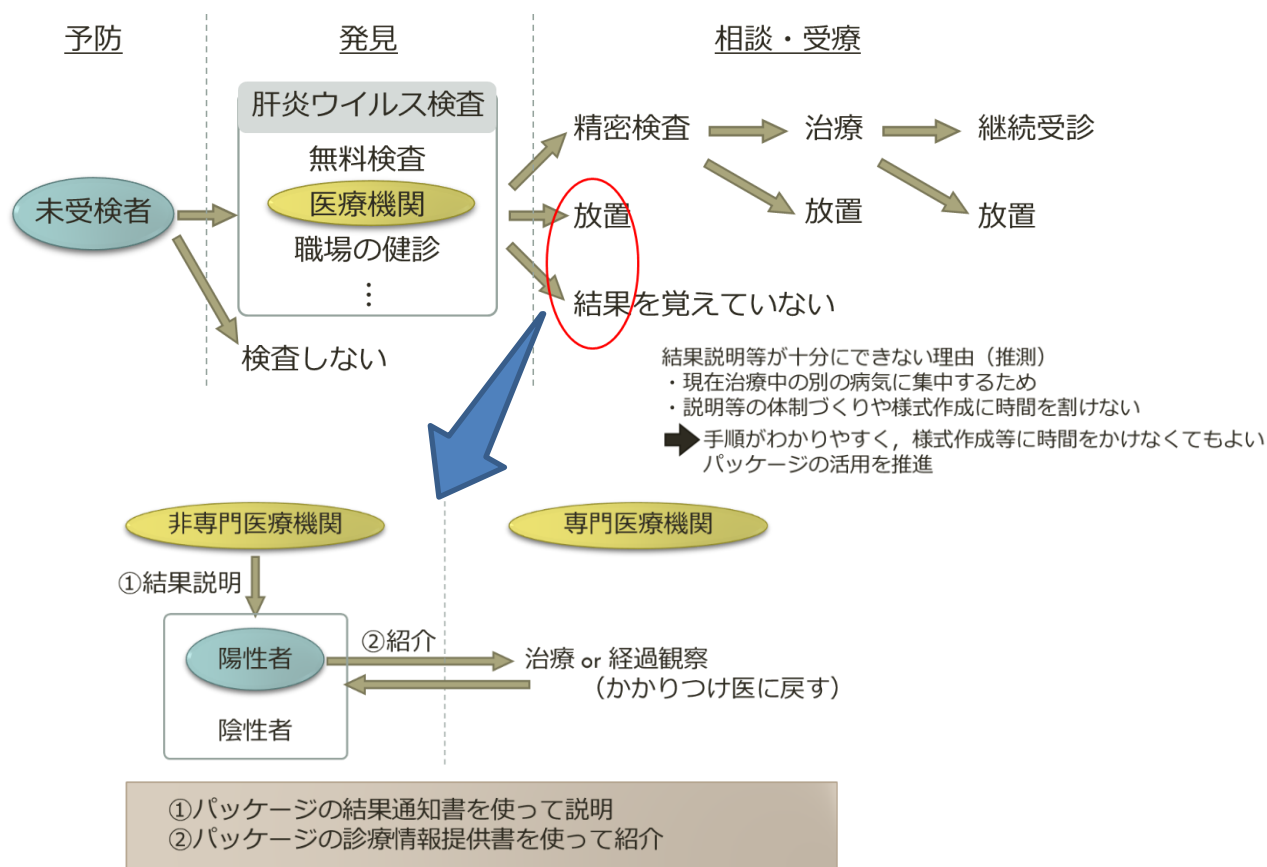


図3 取組のイメージ図

3) 厚生労働省第2回 NDB オープンデータ（診療年月 平成27年4月～平成28年3月）

4) 平成30年度広島県肝炎対策協議会 資料2-1

（平成27年度健康増進事業及び特定感染症検査等事業による肝炎ウイルス検査数）

## イ 取組の内容

この取組は、①専門医療機関内で肝炎ウイルス陽性と判明した者を専門医に繋げる取組と②非専門医療機関内で肝炎ウイルス陽性と判明した者を専門医に繋げる取組（図4）に大きく分けられる。

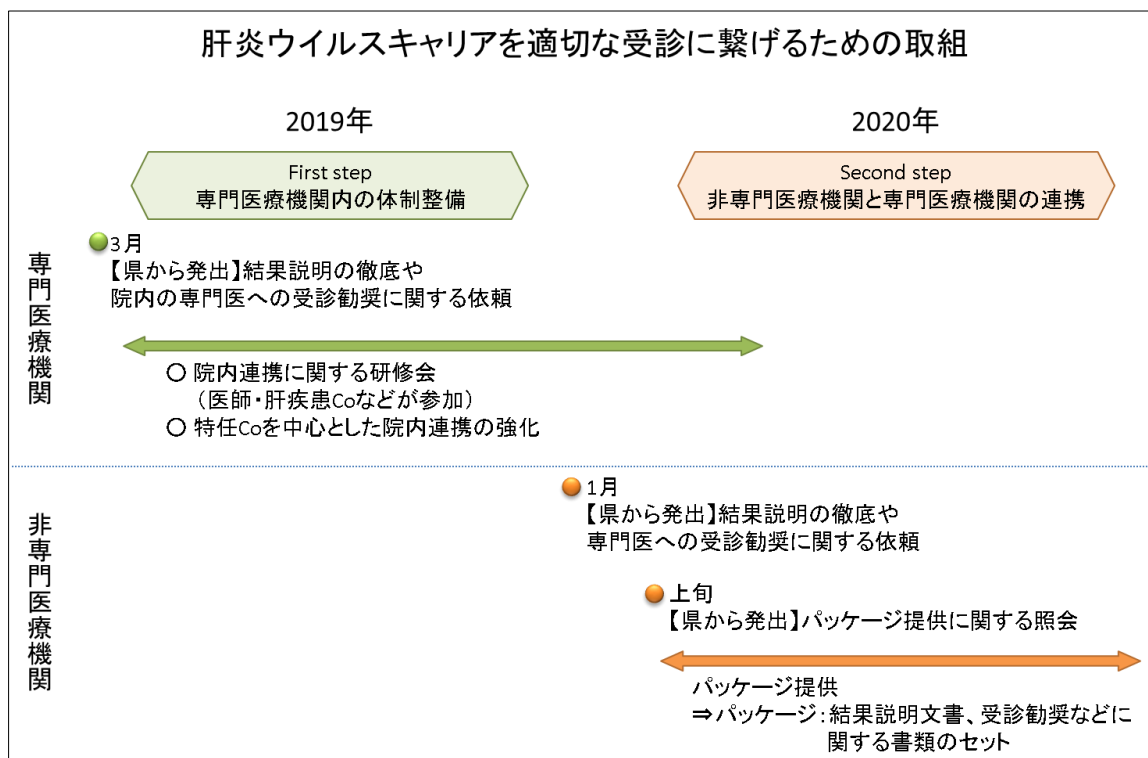


図4 肝炎ウイルスキャリアを専門医に繋げるための取組スケジュール案

## ウ 令和2年度の実績

### (ア) パッケージの作成

①検査結果説明や専門医の紹介等の手順書（図5）、②結果説明文書、③診療情報提供書をセットにしたパッケージ（別添資料参照）を作成した。

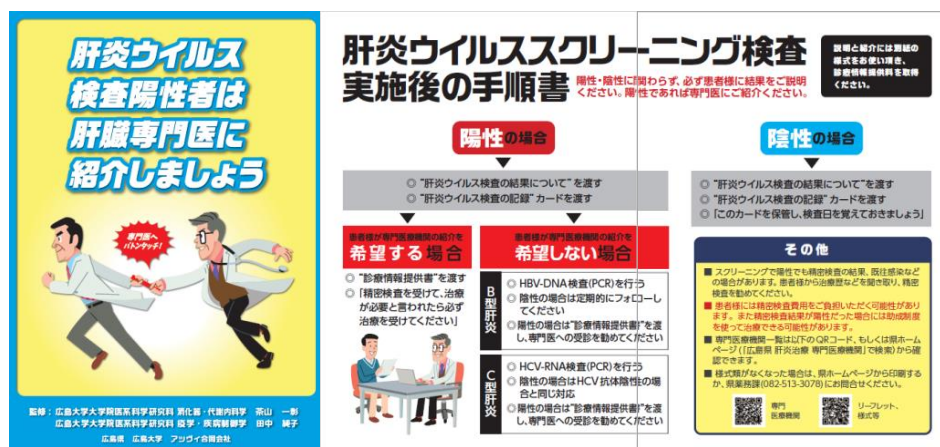


図5 検査結果説明等の手順書

## (イ) パッケージの配布等

パッケージは県に申込をした施設に三者から送付するほか、手交、研修会での配布等によって配布することとした。県への申込は令和3年2月末日時点で78施設からあり、1,290部配布した。また、希望に応じて、パッケージと同時に肝炎ウイルス検査の記録カード(図6)を16施設に320部配布した。

図6 肝炎ウイルス検査の記録カード

パッケージの周知のために令和2年3月～9月にかけて関係団体やひろしま肝疾患コーディネーターに通知し、令和2年10月～12月にかけて研修会等(表1)でパッケージを作成した経緯や使い方、結果説明の重要性を県から説明した。

表1 研修会等での講演実績

日程	名称
令和2年10月15日(木) 18:50～20:15	第314回 世羅郡医師会学術講演会
令和2年10月28日(水) 19:00～20:30	尾道市医師会学術講演会
令和2年10月29日(木) 19:30～20:40	第47回 レーバーアーベント
令和2年11月19日(木) 19:00～20:30	広島県内科会学術講演会
令和2年11月25日(水) 19:00～20:40	第63回 安佐消化器病フォーラム
令和2年12月8日(火) 19:00～20:20	ひろしま肝疾患コーディネーター講演会

## エ 今後の予定等

手交等で配布したパッケージも併せて配布数を確認し、利用状況等を把握することで、さらなる利用の拡大を図るための周知方法や改善点等の検討を行う。

## 3 連携協定の今後の予定等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のある中、当初予定していた主な取組は概ね実施することができた。今後は、実施した取組の成果や課題を把握し、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療による健康寿命の延伸に向けた更なる肝炎対策を検討していく。